

奥田染色株式会社

〔業種〕 染色業

平成
26年度

事業
計画名

加賀友禅技法で建築内装材の展開を 可能とする生産技術及び製品の開発



作業場



エントランス施工

事業に取り組んだ経緯・背景

加賀友禅は石川県を代表する伝統工芸の一つですが、景気低迷と生活様式の洋風化等に伴う着物離れが進行している。明治38年創業の当社も、着物の製作と小物（加賀友禅のハンカチ、加賀染のれん等）を中心としたOEM製作を手掛けてきたが、売上が年々低下しており長期的に先細りになるとの懸念を抱いていた。

そこで、次なる主力事業として活路を見出したのが「建築内装分野」である。建築内装用の価格帯は、汎用品で1,000円/㎡から高級品で2万円/㎡以

上とされ、小物より収益性が高い。当社が保有する設備、人員による生産能力は高価格品の多品種・少量生産に適している。

ただ、既存の生産設備は着物の染色に特化しているため、生地や技法が限定され、捺染台も大幅素材に対応していない。そこで伝統的な加賀友禅の型染技術を従来のも絹以外の素材（天然・合成繊維・和紙・木等）にも適用し、高級建築内装材の製作を可能とする設備に取り組むことにした。



代表取締役 奥田 勝将

時代のデザインならお任せ！

奥田染色株式会社

【企業概要・沿革】

創業110余年、伝統工芸加賀友禅・加賀お国染に携わり、手描き友禅と手捺染と呼ばれる型友禅の両方の技術を駆使し、多彩でオリジナリティのある表現を行っています。

事業内容

既存の生産設備には大幅素材に対応できないため、今回効率的かつ機能的な建築内装材の生産を可能とする設備を導入し、その設備を活用した建築内装材の試作開発を行うことにした。

機械メーカーと打ち合わせを重ねたうえ導入した設備は、新たに開発した大面積かつ多機能な作業台に、乾燥機能を高めるための最新型の省電力型の熱風発生機を設置した特注品である。作業台は巾110cm長さ14mの水平式木台。下からも熱を加えることでさらに乾燥を早めるためのヒーターマットや保護マット、友禅に必要な糯糊の吸収率・強度を高めるビニールレザーシート等を対象素材である天然繊維（絹、綿、麻）合成繊維（ポリエステル等）薄地素材、和紙、木板、珪藻土などに対応できるよう試験を行った。また加賀友禅のもつ装飾性・審美性により染色方法が違い、作業台の粘着接着方法も変

えなければならないため、用途や染色・作業工程に応じて組み合わせて使うことができるような仕組みにした。これによって捺染の全工程の作業工程時間を短縮し、大幅に効率化をはかることができた。また、色むらなどの製品不良率を抑制し、加賀友禅が持つ高度な意匠性を建築内装材に十分生かすことが可能となった。



手捺染台

成果又は波及効果

本事業の実施後、従来の技術と比較して、生産効率の向上、人件費の削減、リードタイムの減少、不良率低下、多種素材への適応といったメリットをもたらした。

更に、県が主催する国内最大の建築内装見本市「JAPAN SHOP」に2度出展をした。また銀座にある県のアンテナショップにも友禅和紙、友禅つき板を使用し営業活動が積極的に行えるようになった。これにより事業実施前と比較して工場見学の依頼や受注の引き合いが増加している。例えば、都内マンションのエントランス部分に加賀友禅の染布を挟み込んだ「合わせ硝子」や、壁面には友禅染を施した「ツキ板」などの装飾を手掛けた。展示会を通して設計会社や、建設会社、施行主から直接受注できるようになった。

今後の展望

建築内装分野は受注から施行まで1年近いタイムラグがあり、継続的な売り上げを確保することは容易ではないが、利益率は高く、自社ブランドの知名度の向上を図りたい。またこれに伴い既存事業のOEM受注への波状につなげていきたいと思っている。



手捺染

【得意分野】

加賀友禅技法による天然繊維（綿、絹）の染色、商品加工

【主要取引先】

呉服問屋、店舗、設計会社、神社、官公庁

【商 品】

加賀友禅（手描き、型染）旗、暖簾、幟、ハンカチ、手拭いインテリア内装

代表者名：代表取締役 奥田 勝将

設立年月日：昭和59年2月9日

従業員数：12人

資本金額：1,000千円

所在地：〒920-0356

石川県金沢市専光寺町二181-3

TEL：076-267-3711 FAX：076-268-1601

URL：http://www.akaneya-web.com

E-mail：okuda.co@akaneya-web.com